

県高校総体

神戸新聞社後援

神戸新聞NEXTに成績を速報

電子版「神戸新聞NEXT」の高校総体特設ページでは、一部を除き競技開催当日に成績をアップ。展望記事や関連ニュースも掲載しています。

27日は各地で9競技が優勝した。陸上の男子三段跳びは上大拓海(神戸鈴蘭台)が44年ぶりの大会記録更新となる15尺22で2連覇した。同1000は高木恒(宝塚)が10秒78で優勝し、同1600は1は社が3分13秒07の大会新記録で24年ぶりに制覇。女子三段跳びは船田追い抜きは神崎が大会新記録を樹立した。同1000は高木恒(宝塚)が10秒78で優勝し、同1600は1は社が3分13秒07の大会新記録で24年ぶりに制覇。女子三段跳びは船田追い抜きは神崎が大会新記録を樹立した。

電子版「神戸新聞NEXT」の高校総体特設ページでは、一部を除き競技開催当日に成績をアップ。展望記事や関連ニュースも掲載しています。

西理(高砂)が12尺08(追記)で優勝した。原田伽(風参考)で制し、12以(神崎)はポイント103の大会新記録も樹立した。同800は榎本つかさ(須磨学園)が2分11秒69で勝ち、1500はとの2冠に輝いた。

自転車はトラック種目があり、4000は団体の村馬事公苑

きょうの競技
馬術(9時35分・しあわの村馬事公苑)

武庫川大付35年ぶり

体操

体操女子団体総合は1位から3位までがわずか0.9点差と近年まれに見る大接戦に。市尼崎の7連覇を食い止めた。武庫川大付は、成長著しい二宮の存在感が光った。個人総合でも連覇を達成した。年生エースは「他校の状況を気にせず、普段通りの力を出せた」と喜んでいた。

女子団体総合

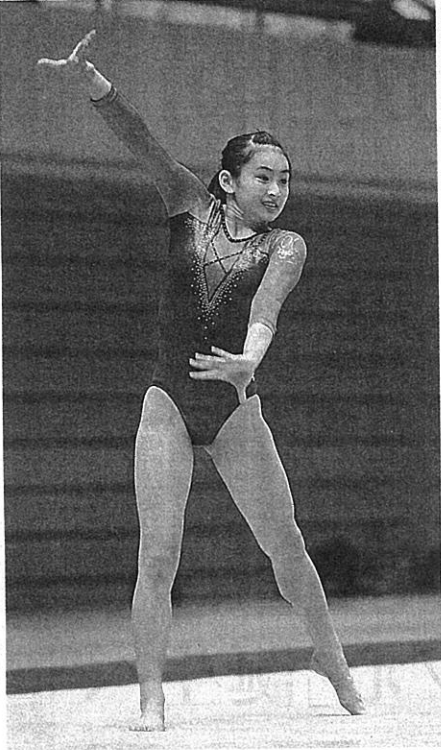
回転し着地時に体を反転させるとが分かっていて、真面目なDスコア(演技価値点)4に努力できる選手」と評価する。

・6点の得意技を冷静に決めろよ、はじける笑顔で跳びはねながら仲間のもとに駆け寄った。

堺市出身。中学時代は羽衣学園で全国大会を経験し、今年3月の全国選抜大会でも個人総合9位と躍進した。現在も毎日約2時間かけて通学し、今春から指導にあたる東監督は「やるべきこと

二宮個人総合も連覇

(長江優咲)



体操女子団体総合で35年ぶりの優勝に貢献し、個人総合でも優勝した武庫川大付の二宮さやか。いずれも姫路市ウイング体育館(撮影・中西大二)